

三年生 国語 学習プリント

三年 組 名前

はじめ



6 論旨を捉えて

『作られた「物語」を超えて』	山極 寿一	教科書 P	158	∪
『話し合って提案をまとめよう』		教科書 P	168	∪
『説得力のある文章を書こう』		教科書 P	174	∪
『初恋』	島崎 藤村	教科書 P	178	∪

対象を評価しながら、自分の考えを広げ、深める

作られた「物語」を超えて

山極 寿一

◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して、主張を捉える  
 ◎筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ

① 次は「アマゴについて」という話です。この中から、筆者の考えを表す一文を書き抜きましょう。

長良川には、アマゴという魚が住んでいる。この魚は、主に山間部で生活しているが、中には、海へ降りて、しばらくの間そこで生活し、大きくなってから、川へもどっていくものもある。この海へ降りるタイプを降海型という。一生を川で生活するタイプ（陸封型）よりも大ききさや見た目が大きく変わり、一見すると、全く別の魚に見える。名前もサツキマスと変わる。いまでも、この魚は同じ種類の魚だと学術的にもわかっている。が、昔の人は、アマゴとサツキマスは別の魚と思っていたに違いない。



※筆者の考え（意見・主張）は、事実を根拠に述べられています。実際は実際の出来事、調査結果や知識、事物の特徴が述べられています。この違いを確認し、「アマゴについて」の文章を読み直してみましよう。

2 本文にある次の名詞の意味を国語辞書で調べよう。

名詞	意味
権化	
勇壮	
蓄積	
脚色	
増幅	
排除	

3 本文の内容を理解するために、本文を最初から最後まで読んだ後に、次の各問いに答えましよう。

(1) P158 6行目 「その格好の例」とありますが、「その」が指し示す言葉を本文の中から12文字で書き抜きましよう。

(2) 「ゴリラをとて凶暴で好戦的な動物と見なす」のは大きな間違いであると思われるのは、どうしてですか。14文字で答えなさい。

(3) 文中で、何度も繰り返し出てくる言葉は、重要な意味をもつ、キーワードと言えます。この文章の中で何度も出てくる言葉を5文字で書き抜きましよう。

## 解答

1

が、昔の人は、アマゴとサツキマスは別の魚と思っていたに違いない。

※筆者の考え（意見・主張）は、文末には、「〜だと考える。」とか、「と思う。」「〜に違いない。」等の言葉で結ばれることが多いです。それに対し、事実は「言い切り」の形で結ばれます。

「長良川には、アマゴという魚が住んでいる。」という文は、事実を述べた文ですが、「長良川には、アマゴという魚が住んでいると考える。」と文末を「考える」で結ぶと、それは意見の文だと言えます。

3

(1)

野生動物のことを誤解する

※指示語の書き抜きは、書き抜いた言葉を、その指示語に置き換えた時、あてはまるかどうかを確認しましょう。

「その」格好の例↓「野生動物のことを誤解する」格好の例

(2)

ゴリラをじっくり観察したから

※「凶暴で好戦的」「大きな間違いであることがわかった」という記述のある段落に注目すると、「ゴリラの群れの中に入ってじっくり観察できるようになる」との間違いであることがわかってきた」という文に気づきます。その際に、14文字と文字数が限定されていることと、「どうしてですか」と問われた時には「〜から」と答えることに注意し、言葉を調整しましょう。

(3)

ドラミング

※5文字で何度も出てくる言葉を探しましょう。